

平成 20 年 5 月 7 日

第 13 回 政策・広報委員会を開催 中学生の「職場体験」の受け入れを委員会活動として推進

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成 20 年 4 月 25 日(金)14:00 から霞が関コモンゲート西館(霞山会館ビル 37 階)霞山会館 Room10「輪花」において第 13 回政策・広報委員会(委員長:栗林 貞一名誉顧問)を開催しました。

当日は、平成 19 年度の活動報告と平成 20 年度の活動計画について審議しましたが、今年度の活動として、新たに「中学生の職場体験」について物流連として正式に取りこむこととしました。

これは、物流事業を広く国民に知っていただく事業の一つとして、昨年の「物流見学ネットワーク」「物流ライブラリー」の取り組みに引き続き、文部科学省ならびに地方自治体が強力に押し進めている中学生の 5 日間の職場体験を、物流連としても各会員の協力を得て受け入れを図っていくというものです。

当日は東京都の担当課長より東京都で取り組んでいる中学生の職場体験の状況について詳しく説明を受けるとともに、今後は、ワーキンググループを編成して、具体的な受け入れについて推進していくこととしました。

小学生向けの物流見学ネットワークを使った「職場見学」と中学生向けの「職場体験」により、小・中学生に広く物流業と触れる機会が増えることとなります。

なお、当日の当委員会の詳細内容は別紙のとおり。

(連絡先) 担当 西城、新開
03-3593-0139

第13回政策・広報委員会議事内容

1. 平成19年度 政策・広報委員会活動報告

(1) 委員会について(第12回政策・広報委員会を開催(平成19年9月7日))

早稲田大学商学部 杉山雅洋教授の講演

・早稲田大学で行われた10年間(平成8年～平成17年)の講座実績を踏まえて、寄附講座の意義について等の説明が行われた。

「中学生の職場体験」の取り組みについて

・今後、「中学生の職場体験」を受け入れ、協力する方向で進めていくこととした。

(2) 初等・中等教育の教科書における「物流」の扱いについての要望関係

文部科学省の動向について

・当連合会から提出した「要望書」、「陳情書」が平成19年8月に開催された、中央教育審議会の「初等中等教育分科会 教育課程部会 社会・地理・歴史・公民専門部会」及び「小学校・中学校社会専門部会」において資料として使用された。

会員のお知り合いを通じて教科書の記述内容の充実について要望をした

・中央教育審議会の委員及び教科書出版会社等の知り合いを紹介していただき、学習指導要領の改訂にあたって「物流」の扱いについて記述内容を充実していただくよう要望をした。

(3) 初等・中等教育の「教科書」以外の取り組みについて

「物流見学ネットワーク」及び「物流ライブラリ」について

・東京都教育委員会、および4区の教育委員会へ協力を要請し、管内の小・中学校へ無料で「案内状」を送付していただいた。

・教える側の先生に対して「先生の見学会」を企画するため、既に行っている法人会員と「東京都小学校社会科研究協議会」より内容確認を行った。

・会員からの申し出により、「物流見学ネットワーク」へ登録している施設等の現地を訪問し、安全性等に関する確認を行った。

・物流連のホームページ上より初めての申込みが入り、岡山県倉敷市立赤崎小学校の5年生約100人が日本通運株式会社水島海運支店を見学し無事終了した。赤崎小学校では「特集の壁新聞」を発行した。また児童から感想文が届いた。

「職場体験」についての調査

- ・東京都が行った平成18年度の「職場体験」についての発表会が東京都庁で行われ、事務局と会員の計6名が見学をした。(平成20年1月26日)
- ・東京都大田区立御園中学校で行われた「職場体験の研究発表会」を見学した。(平成20年2月8日)

「物流見学ネットワーク」のページへのアクセス件数について

- ・物流連のホームページへのアクセス件数は、一日平均10～20件であり、大きな変動はない。また、学校関係以外に、一般企業、大学、外国(特に東南アジア地域)からアクセスされていることも分かった。

「物流見学ネットワーク」「物流ライブラリ」の登録状況について

- ・「物流見学ネットワーク」については、当初55件の登録件数からスタートしたが、14件増の69件の登録となった。「物流ライブラリ」については変動が無かった。

2.平成20年度 政策・広報委員会活動計画

(1)初等・中等教育の教科書において「物流」の記述を増やすための取り組み

- ・引き続き、中教審等委員と、教科書執筆者への働きかけを行う。

(2)初等・中等教育の教科書以外の取り組みについて

- ・今まで以上に会員に呼びかけ、「物流見学ネットワーク」と「物流ライブラリ」の掲載件数を増やす。
- ・会員各社のホームページに、物流連のホームページへのリンクをはることをお願いし、より多くの人に物流連のホームページへのアクセスを促すこととする。
- ・「中学生の職場体験」について、会員に対して協力を要請し、全国的な協力体制作りを行う。
- ・政策・広報委員会の中に、「中学生の職場体験」を実現させるための「ワーキンググループ」を編成し、その受け入れについて考えられる問題点、対策、具体的な計画等についての議論を行い、早急に登録件数を増やすこととする。

(3)3PL人材育成促進の取り組み

- ・平成20年7月10日を皮切りに、平成21年3月12日まで延べ14回開催予定。

(4)大学寄附講座

昨年に引き続き3大学で開催予定

[首都大学東京(都市教養学部)]	4月 16日～7月 16日
[関西大学(商学部)]	9月 24日～1月 14日
[横浜国立大学(経営学部)]	10月 2日～1月 29日

(6)発行物について

会報

昨年に引き続き、8、2、4月に発行予定。尚、毎回委員会名簿を記載し、委員会活動の意識を高める。

物流情報

昨年に引き続き、新年号、春、夏、秋号を発行予定。

数字でみる物流

7月発行予定。

3.東京都における「中学生の職場体験」の取り組みについて

東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 青少年担当課長 常盤隆氏より

「中学生の職場体験」の事業の趣旨

現在の社会に見られる青少年の様々な課題

損害賠償責任保険の概要

実施に向けた取り組みについて

4.その他

以上